

キシダマムシグサ	<i>Arisaema kishidae</i> Makino ex Nakai	絶滅危惧Ⅱ類
		サトイモ科
選定理由	分布が局限されていて、個体数が少ない。	写真(岐阜大学教育学部標本室)
形態の特徴	高さ20-50cmの多年草。葉は1-2個、偽茎部と葉柄部はほぼ同じ長さ。葉身は5-7枚の小葉に分裂し、小葉は全縁あるいは鈍鋸歯があり、楕円形あるいは広楕円形。花序柄は葉柄部とほぼ同じ長さ。仏炎苞は淡紫褐色。花序付属体は柄があり、棒状。	
生態的特徴	林床や林縁に生育する。葉と花序は5-6月に出る。	
分布状況	日本に固有で、東海地方と近畿地方に分布する。岐阜県では県南に見られる。	
減少要因	開発による生育地の破壊。	
保全対策	生育地の保全。	
特記事項		
参考文献		

文責: 高橋弘